

横田基地における演習等の実施について（口頭要請）

令和2年10月21日から同月30日までの間において実施される演習等について、次のとおり要請する。

- 基地外に影響を及ぼさないよう十分な配慮を行うこと。
- 使用する航空機においては、安全対策の徹底を図り運用すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- P A S、G B S、煙幕、バッシュキャノン及びフラッシュグレネード（閃光発音筒）の使用に当たっては、音量や時間帯に配慮するとともに、基地外に影響を及ぼさないよう十分な対策を講じること。
- 周辺住民への不安軽減のため、訓練情報の早期提供を徹底すること。

令和2年10月16日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	藤野勝
羽村市長	並木心
瑞穂町長	杉浦裕之

幹事 立川市長 清水庄平